

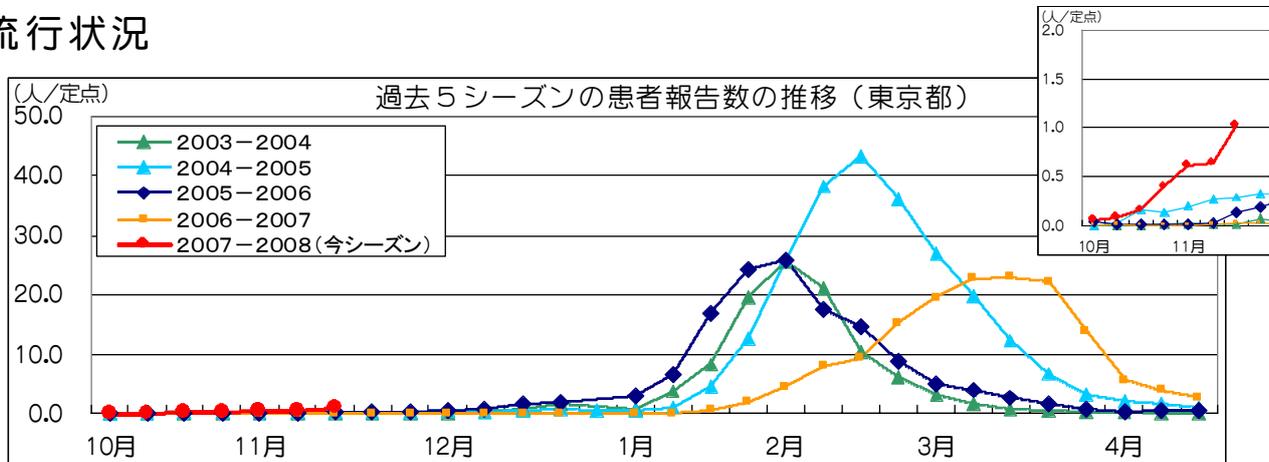
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第2号)のトピックス

- 第46週(11/12~18)のインフルエンザ患者報告数は 293人、定点当たり 1.02人 (昨年同期 3人、定点当たり 0.02人)
- 新宿、文京、世田谷、練馬、町田、多摩の4区2市で学級閉鎖
- 12都道府県からAH1亜型(Aソ連型)、3県からAH3亜型(A香港型)が報告される
- B型の報告はなし
- 9都道府県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が1人を超える
- ワクチン・治療薬等の供給状況 ・情報提供サイト

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。

1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第46週(11/12~18)の患者報告数は東京都で 293人、定点当たり1.02人です(昨年同期 3人、定点当たり0.02人)。定点当たり患者報告数が、流行の目安となる1人を超えました。これは1999/2000年シーズン以降では最も早いものとなっています。全国患者報告数は 4,415人、定点当たり0.94人です。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

2 都内学校の学級閉鎖状況

11月11~17日に、新宿、文京、世田谷、練馬、町田、多摩の4区2市でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

ワクチン・治療薬等の供給状況

ア インフルエンザワクチン

今シーズンの供給予定量 2,520万本
(平成19年10月2日時点)
(うち、40万本を不足時の融通用として確保)

イ 抗インフルエンザウイルス薬

[1] タミフル(一般名:リン酸オセルタミビル 中外製薬)

今シーズンの供給予定量 600万人分
(タミフルカプセル75及びタミフルドライシロップ3%の合計)

[2] リレンザ(一般名:ザナミビル水和物 グラクソ・スミスクライン)

今シーズンの供給予定量 300万人分

ウ インフルエンザ抗原検出キット(迅速タイプ)の供給

今シーズンの供給予定量 約2,200万人分(需要増に対応し増産が可能)

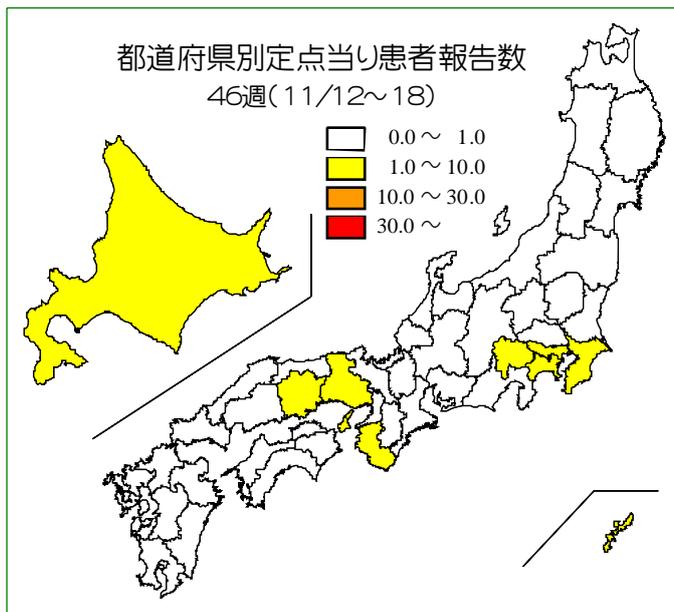
表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-43週 (9/3-11/4)	88	5	5	0	0
44週 (10/29-11/4)	23	2	2	0	0
45週 (11/5-11)	28	0	0	0	0
46週 (11/12-18)	6	3	3	0	0
合計			10	0	0

表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
10月22日	江東区	幼稚園	3	3	3	0	0
10月23日	多摩府中	小学校	3	3	3	0	0
10月29日	町田	小学校	5	5	5	0	0
10月30日	練馬区	小学校	5	5	5	0	0
10月31日	池袋	小学校	5	5	5	0	0
11月5日	世田谷	小学校	4	4	4	0	0
11月7日	杉並	小学校	4	4	4	0	0
11月7日	多摩小平	小学校	4	4	4	0	0
11月13日	南多摩	小学校	4	4	4	0	0
11月15日	新宿	小学校	4	-	-	-	-
11月19日	渋谷区	幼稚園	2	-	-	-	-
11月21日	多摩立川	小学校	4	-	-	-	-
11月21日	江戸川区	小学校	5	-	-	-	-
11月21日	品川区	小学校	4	-	-	-	-

-:検査中



情報提供サイト

- 東京都感染症情報センター
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/index.html>
- 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>
- 厚生労働省「今冬のインフルエンザ総合対策について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>
- インフルエンザQ & A (厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/07qa.html>

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

11月18日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が10件、PCR法により検出されています。

11月21日までに集団発生(学級閉鎖等)14事例の検体が当センターに搬入され、9事例37検体からAH1亜型が、PCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、11月21日までに、12都道府県からAH1亜型、3県からAH3亜型が報告されています。B型の報告はありません。

今回新たにAH1亜型が埼玉県から、AH3亜型が千葉県から報告されました。

4 全国の流行状況

第46週(11/12~18)現在、北海道(8.05)、沖縄(3.07)、神奈川(1.78)、和歌山(1.66)、千葉(1.51)、兵庫(1.40)、岡山(1.05)、東京(1.02)、山梨(1.00)の9都道府県が流行の目安となるインフルエンザ定点当りの患者報告数が1人を超える状況にあります。

東京(1.02)は全国で8番目になっています。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています